

初夏の花の女王

6月(季節は初夏)になるとササユリは、淡紅色の可憐な花を咲かせます。野山を歩いていてササユリの花を見つけると何か宝物を見つけたような想いになります。まさしく新緑の中で艶やかに凛々しく存在している女王の風格があります。「初夏の花の女王」と言われる所以でしょう。野草を愛する人々の人気の花の一つです。

園芸種として改良され生まれたユリは、日本のユリを原種としたものも多く、日本のユリは世界に誇るべき存在です。ササユリの色や佇まいは、日本に自生するユリの中でもより、日本らしい姿を示しているように感じます。

葉は厚く笹の葉によく似ています。二股三股に分かれて花を咲かせることもありますが、陶史の森では土地が痩せているため分かれずに1つで咲くものが多いです。ユリの仲間は、6枚の花びらがあるようにみえますが、外側3枚はガクで花びらは3枚です。

ササユリは、種子で繁殖しますが、発芽し、花をつけるまでに7~10年の長い時間を要すると言われます。花を摘んでしまうと種子を残すことができず絶えてしまいます。自生のササユリが年々減少しています。「初夏の花の女王」が長く栄えていくよう保護に協力をお願いします。



森の日記

さっぱりしました!!

4月15日(月)

「ヒツジの毛を刈らないとどうなるんですか」と質問がありました。そのままにしておくと夏には熱射病になってしまうようです。桜の花びらが舞う少々肌寒い時ではありましたが、ヒツジたちは、夏に向けて早くも衣替えをしました。今年は、4頭のヒツジの毛刈りを行いました。

約1時間15分かかりましたが、毛を刈られたヒツジたちは、気持ちよさそうに春の光を浴びて駆け回っていました。



教室のご案内

6月

ミツバチ教室(要申込 定員150名)

6月16日(日) 午前9時~11時30分

ミツバチの蜂蜜搾りを体験し、その蜂蜜を味わいます。ウッドイードーム内で行います。

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

6月23日(日) 午前9時~11時30分

初夏の野鳥を観察します。

7月

草花標本作り教室(要申込 定員20名)

7月7日(日) 午前9時~11時30分

植物を観察・採集して標本を作ります。

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)

7月28日(日) 午前9時~11時30分

夏の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

お詫びと訂正

5月1日号陶史の森だよりの「ヒトツバタゴ」の記事12行目で「タゴが双子葉類であるのに対し単子葉類である」と記載しましたが、正しくは「タゴが複葉であるのに対し単葉である」の誤りでした。お詫びして訂正します。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。

